

私の使用パソコンの遍歴

私が始めてパソコンを使い始めたのが 1990 年 4 月で、会社で与えられた東芝製のラップトップパソコン J-3100 SJT で CPU は 80386(20MHz)、メモリは 2MB である。当時は専ら Lotus123(Excelと同じ表作成ソフト、当時まだExcelは世に出ていなかった)を使って、会社(Tonex)の Long Range Financial Plan の検討を、総務部長の家本さんに教えられた通りに行っていた。Lotus123 以外で使っていたのは、メールでこれは国内、海外(Exxon)と交信していた。メールは自宅に 1989 年に購入した Canon のワープロキャノワード α5 を使用し、Nifty Serve に 1992 年 2 月に加入してパソコン通信を始めていたので簡単にできた。それ以外は、篠崎典子さんという優秀な秘書がいたのですべて彼女に任せていたので、パソコンの操作を勉強する機会はなかった。

ラップトップパソコン J-3100 SJT の次に会社で使用したのは東芝製のノートパソコン DynaBook で CPU は 80486 だったと覚えている。画面はまだ、モノクロであった。使用目的は専ら Lotus123 での収支予測の計算と、メールの送受信であった。

自宅にパソコンを購入したのは、太陽石油に入社した翌年の 1995 年 8 月で、会社の見元社長室長、川上さん、芳居さんという 3 人のパソコンマニアに刺激されたからである。購入したのはメーカー製で、富士通の FMV DeskPower SX(FMV-57D4S6)という横置きの本体の上にモニターを置いたデスクトップ型パソコンで、OS は Windows 95、CPU は最新の Pentium 75MHz、メモリは 4 MB X4=16 MB(2 枚増設)、HD は 540MB であった。HD は、後で Western Digital の 1.6 GB を購入し、これをプライマリーに取り付け使用した。1998 年 12 月に、友人の伊藤健さんが 2 年前に ¥40,994 で購入した Western Digital の 1.6 GB を ¥5,000 で売ってもらい 540MB の HD と取り替えた。このパソコンは 5 年使って古くなったので買い替えることにした。2 台目のパソコンは、メーカー製パソコンは、使用しているパーツが最新でなく、また不要なソフトが多く付いていて高価なので、BTO パソコンを買うことにした。

自宅での 2 台目のパソコンは BTO パソコンで、2000 年 6 月に購入した。機種は Epson Direct の Endeavor Pro-600L で、CPU は Pentium III 667MHz、メモリ 128 MB(後に +128、+256 で合計 512 MB まで増設)、HD は最初 Quantum の 4400rpm の 15MB のものを 2 台入れたが、同時に壊れ、以後 Seagate の流体ベアリング仕様の 40 GB、60GB、120GB を増設した。OS は Windows 98 SE であったが、後に ME、XP Home Premium と更新し、一時期には、98 SE/XP デュアルブートで使用した。

Endeavor Pro-600L は、中々良いパソコンであった。問題点は、テクニカル・サービス陣のお粗末さで、私が腹を立てていたのは次の点である。

購入直後から、3Mode FDD の調子が悪く、特に Windows 98SE の起動 FD が、without CD-ROM では 2 枚目も読み込むが、with CD-ROM では、2 枚目の FD を読み込まない点であった。修理に出せといわれたが、別他に悪いこともないのでそのままにしていた。

OS をクリーンインストールするたびに、問題が生じたがその都度、Epson の HP から最新の 3 Mode FDD のソフトをダウンロードし対応してきた。

平成18年4月にまたFDDがおかしくなり、テクニカル・サービスに問い合わせたが要領の得ない対応であった。ただ、別のFDドライブを取り付けてもトラブルが回避できないことから、自分でBIOSを調た。BIOSの画面に「3 Mode FFD」なる項目を発見し、これを「Disable」にしたところ、Microsoft 標準のソフトで動くし、Windows 98SE の起動FDDも、wit CD-ROMでも、2枚目のFDを読み込めることが分かった。

問題点が生じた直後から、何回もテクニカル・サービスに電話しているのに、誰1人この点を教えてくれなかった。秋葉原のサービスセンターの技術者も、この点に関しては無能でした。知っている技術者が少数で、知っている技術者に電話がつながらなかったのは不運であった。この会社が日経パソコンが毎年掲載しているサービス1位の会社とは、日経パソコンの記者もどこを見ているのかといいたいくなる。いずれにしろ、テクニカル・サービスの程度の低いEPSON DIRECTのパソコンは金輪際買わないことにした。

自宅での3台目のパソコンはShop製パソコンで、自宅から徒歩で5分のところに開店した「ドスパラ日野店」で2006年12月に購入した。機種はDOS ParaのPrime Grandmonarch LXでCPUはCore 2 Duo E6600 (LGA775/2.40 GHz/4M)、メモリ1GB、HDはSeagate 250 GB、OSはWindows XP MCE2005 インストールモデルである。

(以下作成中)

自宅での4台目のパソコンはノートパソコンで、2008年6月に購入した。機種はデル製のVostro 1400で、CPUはCore 2 Duo プロセッサーT7250、メモリ2GB、HDは160 GB、OSはVista Ultimate(downgrade windows XP Professional)